

# まなびのキャンパス推進事業における行動計画(素案)について

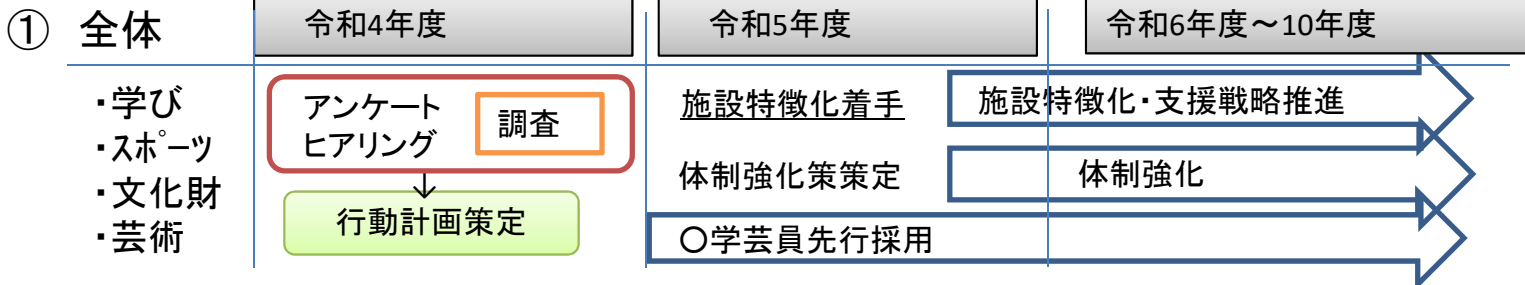
## 1 目的

既存の公共施設などの資源を有効に活用し、「学びと実践の好循環」(学びを「地域づくり」や「地域共生」に繋げる)を育む

## 2 概要 ○ 学びのキャンパス推進事業

区分	行動計画	具体的取り組み(パイロット事業を含む)
(1)環境づくり	施設の特徴化・聖地化	ホール施設、図書館・博物館、スポーツ施設
(2)推進の場	地域センターに加え学校を核とした学びの場	青少年を活用した放課後の児童の活動
(3)支援戦略	弱点分野・戦略分野	弱点分野の講座／調査特定し強化
(4)専門体制	教育文化振興事業団の体制強化	部門(学び・スポーツ・文化財・芸術・[国際化])

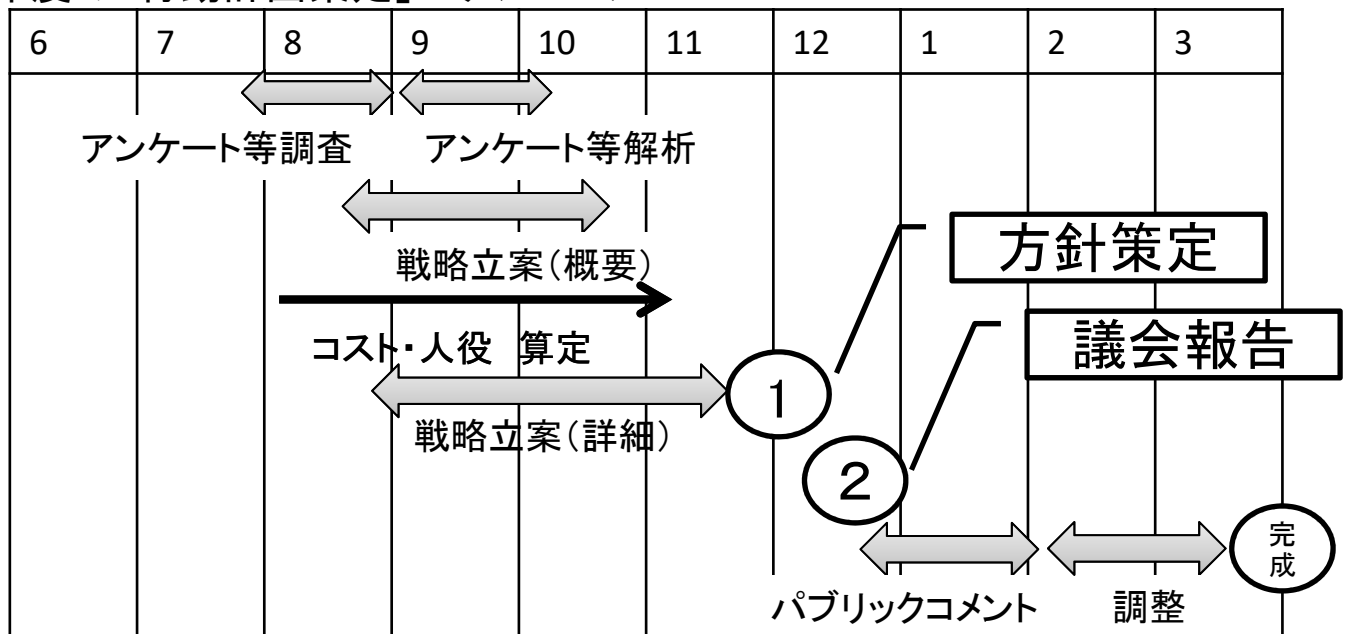
## 3 スケジュール(案)



### ② 住民意向調査

調査方法	対象者数	備考
市民アンケート	1000人	地域配慮型無作為抽出
関係団体ヒアリング	約100団体	学び・文化・芸術
施設アンケート	来館者	生涯学習施設
青少年アンケート	市内11高校	夏休み前実施

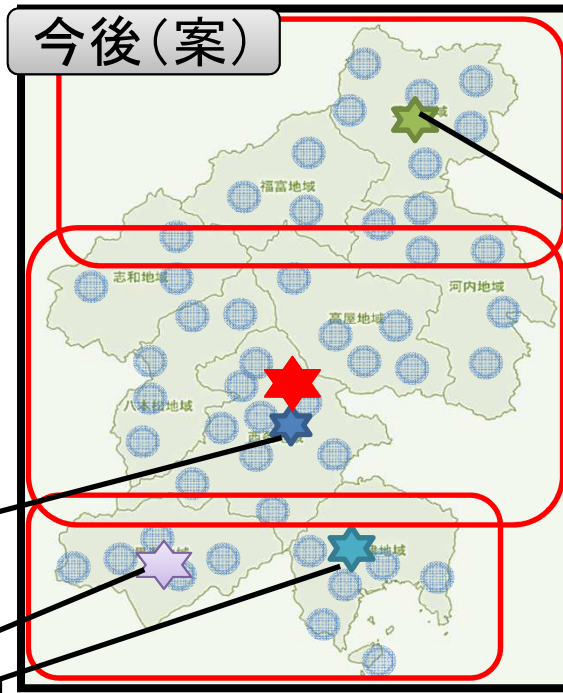
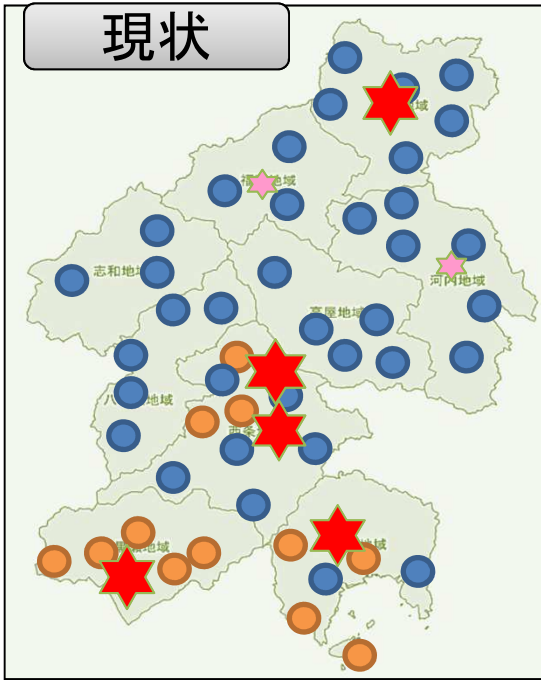
### ③ R4年度の「行動計画策定」スケジュール



# 4 詳細

## (1) 環境づくり

### ① ホール施設



現状	地域の学びの拠点 ● = 地域センター ● = 地域センター類似施設
	町ごとの学習の拠点 ★ = 生涯学習センター(箱) ★ = 生涯学習支援センター(機能)
背景	公共施設適正化 ・新規施設は作らない ・既存施設は減築や合築 →支援センター(福富・河内)や、大規模ホールの無い地区(八本松・志和・高屋)に生涯学習センターの新規建設は難しい

<p>①豊栄文化センター(アゼイリアホール) [現状] 固定450席 [利用] 市民ミュージカルや吹奏楽の練習 [今後] <b>北部の文化の発表の場</b></p>	
<p>②東広島市民文化センター(アザレアホール) [現状] 稼働300席 [利用] 和文化、国際化の利用頻度が高い [今後] <b>国際化・和文化芸術振興の場</b></p>	
<p>③黒瀬文化センター(せせらぎホール) [現状] 劇団四季を誘致・上演。 [今後] <b>南部の文化の発表の場 芸術鑑賞の場</b></p>	
<p>④安芸津文化センター(万葉ホール) [現状] 安芸津文化連盟の活動 [今後] <b>南部の文化の発表の場</b></p>	

	これまで	
	体制	運営
くらら	民間指定管理	鑑賞事業・育成創造事業 事業団が主催講座運営
市民文化センター	事業団指定管理	自主事業
黒瀬生涯学習センター	直営 (専任センター長)	貸館中心 ※パイロット自主事業実施
豊栄生涯学習センター	直営 (兼任センター長)	貸館中心
安芸津生涯学習センター	直営 (兼任センター長)	貸館中心

**これから**  
くらら以外の既存4施設は各施設の特徴に応じた施設運営を行う。  
施設に応じて、鑑賞事業や自主事業を強化する。  
黒瀬・豊栄・安芸津の生涯学習センターの管理運営方法を検討する。

② 地域の特徴を活かしたパイロット事業 豊栄地区の施設の再編・利便性の向上

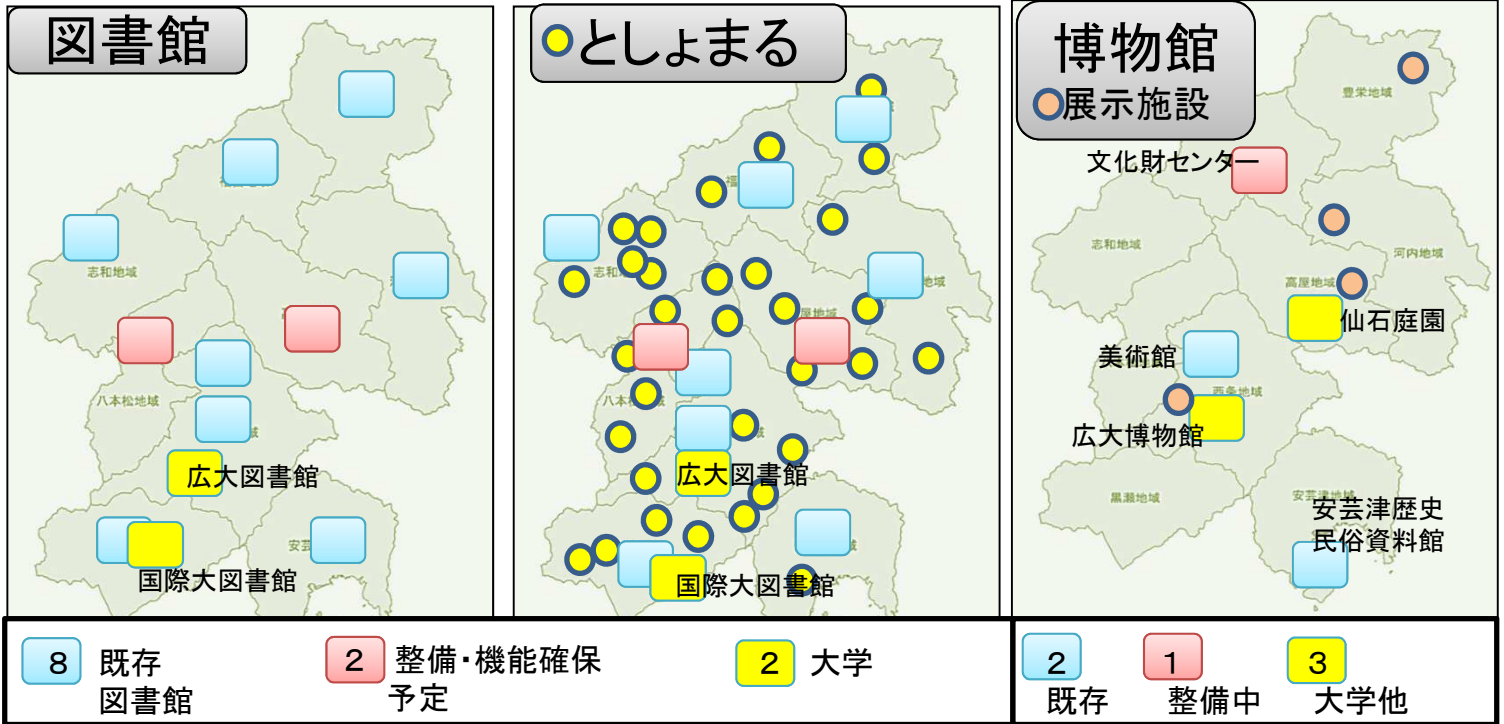


- ・豊栄市民体育館の老朽化  
→耐震化未了
- ・豊栄生涯学習センター  
→装置等の老朽化  
→図書館が狭小
- ・豊栄四季菜館  
→集客力を高める必要がある

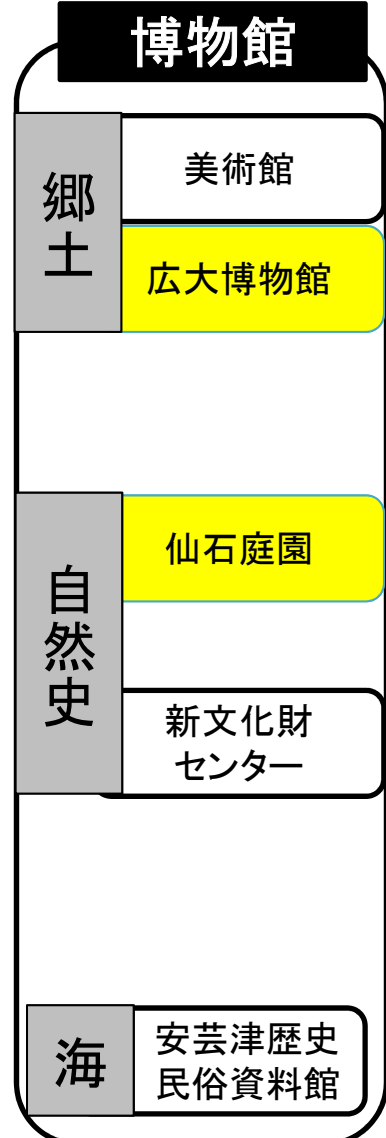
これから  
施設の合築や減築などにより、各施設の機能の再構築を行い、効率的・効果的な活用ができるように検討する。

図書館は、各地区の地域館を特徴化し、交流を育む。  
通常書籍の貸本は、「としよまる」が市内各所を周り配本することで、  
公平な市民サービスを図る。

### ③ 図書館、博物館



地区	図書館	機能強化(案)	+α
西条	中央図書館	オールマイティ機能	
	サンスクエア児童青少年図書館	国際化、青少年・児童の利用の場	DXによる効率化 空きスペースをサロン化
八本松	八本松複合施設		八本松地域センター等の連携による図書機能
志和	アグリ図書館(園芸センター)	農業図書	ルーラル電子図書館(農業専用図書)閲覧
高屋	DX図書館(西高屋駅)	ビジネス書 電子図書	高屋出張所の災害時のサブ拠点開設
黒瀬	黒瀬図書館	広島国際大学との連携	
福富	福富図書館	環境と水の図書館	
豊栄	豊栄図書館	おおさんしょうお・自然共生図書館	
河内	河内こども図書館	こども図書館	
安芸津	安芸津図書館	海と文化歴史の図書館	

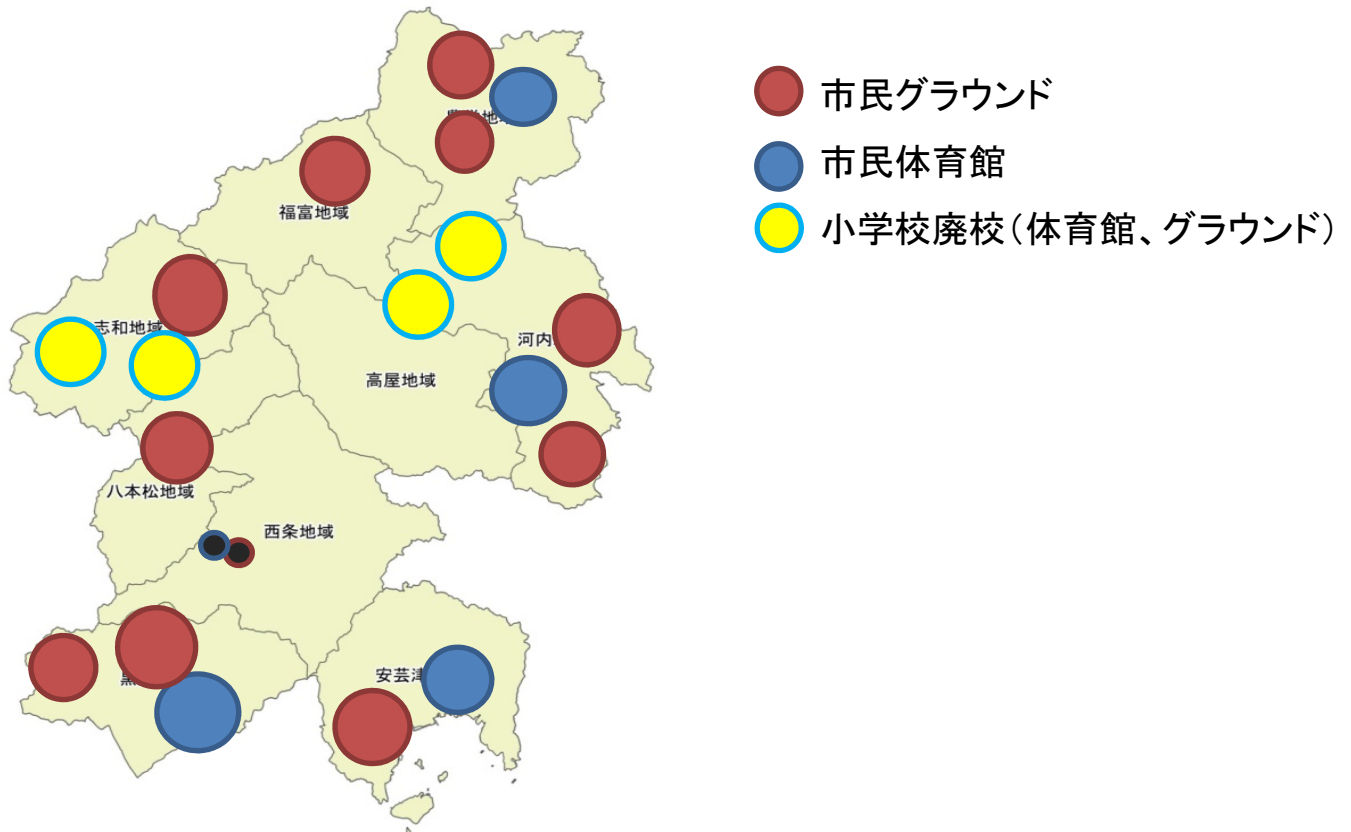


#### ④ スポーツ施設

### スポーツ機能特徴化・再配置(案)

スポーツ施設は、修繕や機能整備を計画的に執行していく必要がある。  
また、スポーツによっては大会などの開催で、予約が取りづらいなどの課題がある。

- ①各施設を特徴化・聖地化し、器具や機能の配備、また大会の優先予約のインセンティブがつく施設とする。
- ②廃校体育館を、特定スポーツで分野に関して市民全体の聖地としスポーツ施設として活用する。



	公共施設	体育館・グラウンド	聖地化
スポーツ施設	32	14 (アクアパークを除く)	体育館・グラウンドを中心に聖地化を検討していく
学校施設	50	小32、中14、廃4	廃校施設について、市民全体の聖地とするものについて、市民スポーツ施設として検討していく

特徴化・聖地化をニュースポーツ普及などの戦略とも連携し、大会誘致や市スポーツ振興の戦略を推進していく。

⑤ スポーツ施設の特徴化・聖地化、「健康づくり」事業におけるパイロット事業

ウォーキングによる健康づくり

“歩いて楽しいまち”、名所史跡巡りや大学連携などで、“健康と教養のまち”

健康づくり  
(健康福祉部)

スポーツ振興  
(生涯学習部)

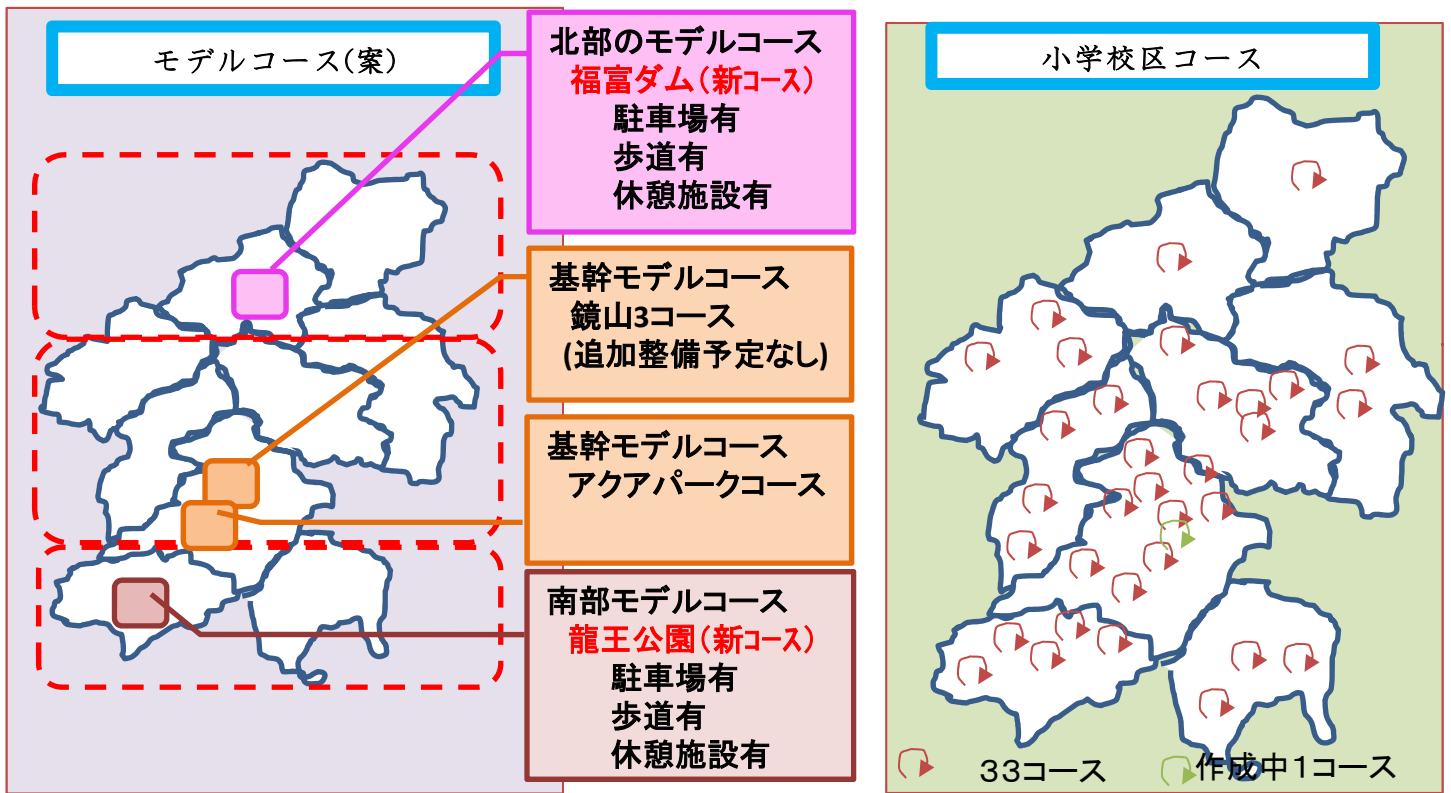
施設(道路・公園)所管課

楽しんで健康づくり

いつでも、どこでも、だれでも、  
地域でできるスポーツ

A モデルウォーキング  
コースの設置

B 小学校区ウォーキング  
コースの設置



①科学的な根拠に基づく効果を基にモデルコース設置

②科学的な数値目標

③地域でのウォーキング指導者の養成

④モデルコースの活用

⑤小学校区ウォーキングコースで指導

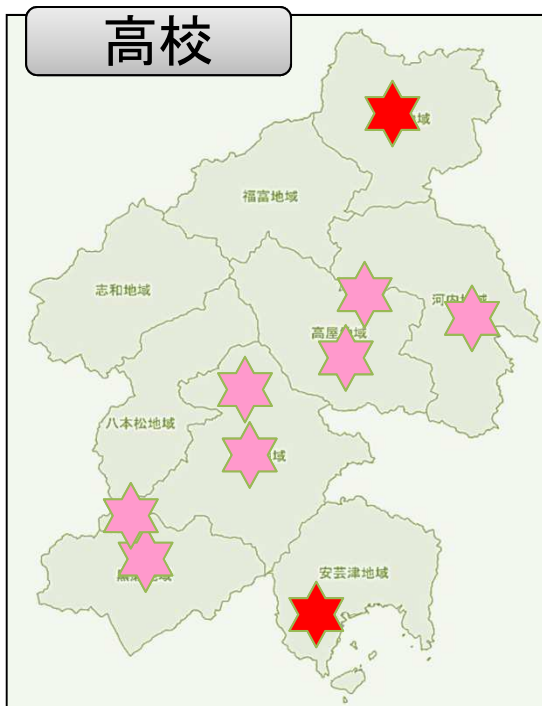
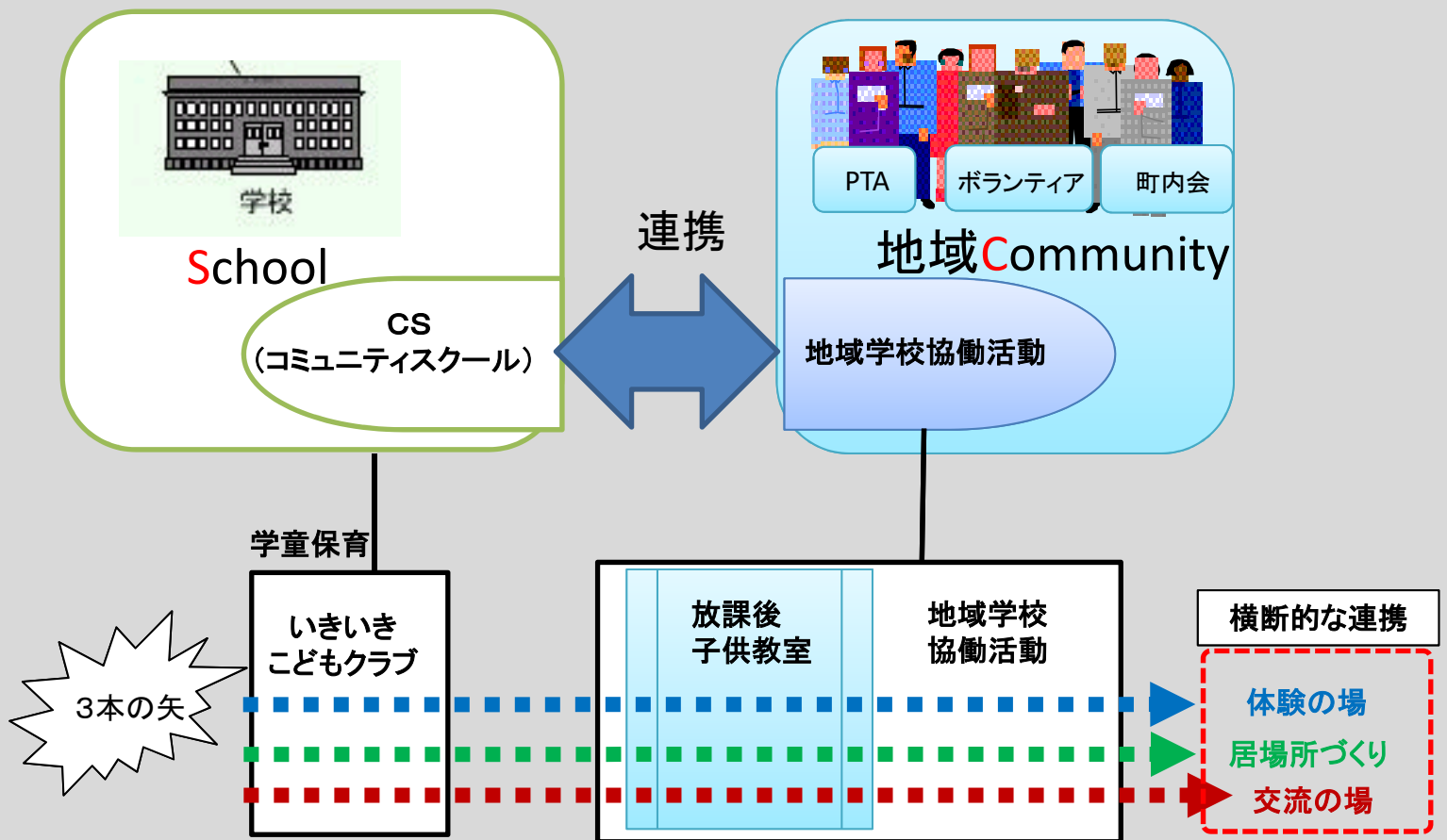
⑥個人の活動に波及

⑦科学的な計測による効果の検証

## (2) 推進の場

### 青少年を活用した地域学校協働活動

- 学校と地域が連携し、放課後の子どもたちの育成活動を行う。
- 地域づくりの重要な場の一つとなる。



### ① 今までの教室

- 地域の高齢者を中心に
- ・囲碁教室、ダンス教室
  - ・絵画教室
- 大学と連携し
- ・天文・防災教室
  - ・科学教室

### ② パイロット事業

#### 高校生とタイアップ

- ・勉強、相談、スポーツ、工作に高校生が企画運営から参画し、放課後こども教室を支援する。

### (3) 支援戦略

#### ① 弱点分野の講座の調査と強化

人生百年時代 (年齢)		学びの主催者	学びの講座	課題		
高齢期 65	熟年マイスター 熟年大学	生涯学習部 地域センター 大学	学びの講座	↑ <b>6</b> ↓		
	中年 壮年期 25		リカレント教育 サークル		自主活動	
青年期 15		学校	大学生		学生	部活など
	高校生		地域		企画運営への参画	<b>4</b>
少年期 5	中学生				主体的取り組み	<b>3</b>
	小学生				体験	<b>2</b>
幼年 0	未就学児	こども未来部	子育て講座・活動	<b>1</b>		

- 1** 未就学児      ブックデビューや親プロなどの家庭教育支援を推進する。
- 
- 5** 学生      クラブ活動やボランティアなどによる参画に加え、有償での参画も進める。
- 
- 6** 大人      様々な学びにおいて、講座の弱点の解析を進め、強化を図る。

**2**

#### 小「やってみよう」

体験、自分が「好き」なものを見つける



**3**

#### 中「何をやるか考えよう」

体験した「好き」に主体的に取り組む



**4**

#### 高「人の役に立とう」

学び続けているものを、「誰か」のために活かす





## ② 戦略的分野の取組(美術館・くらら・西条酒蔵通り)

### ア 市民美術ウィーク

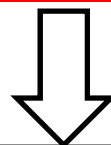


### 市民美術ウィーク(仮称)

市民自らが美術館活動に参加し、豊かな文化を創造し、交流を生む。

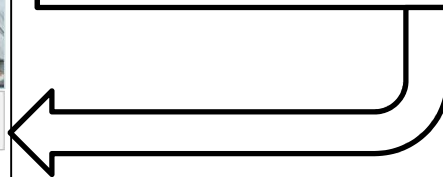


・美術館が街に出ていき、アーティストとともに市民参加型で、**施設の空間を活用して**、展示するイベントを開催



#### ■ 市内丸ごと美術館

市内の他の文化施設を  
ギャラリー的機能として活用



### 新規事業

#### ① くららダンスの日

- ・ダンスへの潜在的なニーズ  
(美術館前の練習生や市内ダンスイベント)
- ・ダンスに対する機運の高まり  
(オリンピック、小中学校必須科目)
- ・新たな文化芸術の柱

○くららを使う

○くららに集う

○くららで競う

### 既存事業

#### ② くららピアノの日

アマチュアのピアノ奏者(児童生徒でも可能)に、プロも憧れる高度な機能を有したピアノを活用できる



スタインウェイ社製  
(D-274)



ヤマハ社製  
(CFX)

利用料金 2,000円(1区分30分)  
ホール客席: 演奏の見学・鑑賞・出入り自由。  
撮影等: 写真撮影・ビデオ録画・録音は自由。

# ① アーツコンシェルジュ事業

## ア 目標

市民団体の活動を支援し、くらの舞台で有料公演を行える団体を育成する。

## イ 業務

舞台芸術の立ち上げ相談と伴走型支援



## ㊦ 伝統的建造物群保存地区と史跡化



西条酒蔵通りの酒造施設群は20世紀遺産20選に選定される、貴重な近代の産業遺産



江戸時代の宿場町から、明治時代の最新技術を活用した産業団地に変遷した地割が残っている点が、伝統的建造物群保存地区の要件を満たすものとして高く評価されている。



図 2.33 江戸後期から明治中期の地割実遺図



図 2.34 明治中期頃から昭和初期～中期頃の地割実遺図

酒蔵通りの保存と活用を整理する。

## (4) 専門体制

### ① 方針(案)

「公益財団法人」である「東広島市教育文化振興事業団」の体制充実を図る。

豊富な経験と専門的な技能を有する人材により、長期的・継続的な学びの振興に取り組む。

### ② 生涯学習の長期的・継続的振興のための体制強化(案)

部門	学びのキャンパスの推進方針	事業団の体制強化(案)		
		専門職員	市との関係	
(1) 学び・文化活動	生涯学習センターの自主事業を強化する。専門職員を事業団に配置し、伴走型で地域の学びを支援する。	部門ごとの経営・マネジメント体制を強化する	現在の生涯学習推進員は施設管理と学びの支援を兼務しない。 ↓ 学びの支援専門員を配置する。	市との役割分担を明確化  対等な関係を構築
(2) スポーツ活動	スポーツ施設の特徴化・聖地化する。戦略により、地域の健康づくりに市民リーダーが対応		事業団のスポーツ専門職員を継続性を持って雇用する。専門職員が戦略を立て、スポーツリーダーが、地域の市民リーダーを育成する。	
(3) 造形芸術	学芸員が、ハイレベルな展覧会を企画し、市民の育成創造にも取り組む		現在の市の任期付き学芸員を事業団のプロパー職員とする。寄贈・購入にも対応するため増員し、長期的継続的に取り組む。	
(4) 歴史・文化財	新文化財センターの整備などにより、市史・郷土資料の公開を強化。		文化財の保存管理や発掘に習熟した学術職員の採用を事業団で実施する。公開施設の紹介・相談に対応。	

### ③ スケジュール 事業団の具体的強化(案)

